

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<p>(イ) アンゴラ共和国・ベンゴ州における地雷被害の局限と地域復興に寄与</p> <p>(ロ) 機械による地雷処理技術等を移転し、自立処理能力を向上</p>
(2) 事業内容	<p>(イ) 地雷処理 C N I D A H 及び州行政府と緊密に調整し、機械を使用した地雷処理作業を実施し、約 4 0 ha の安全化を図る。</p> <p>(ロ) 地元隊員に対する技術等の移転 現地地雷処理機関 ( I N A D ) の隊員に対し O J T を通じて、地雷除去に関する技術 ( 地雷除去機の操作、整備 ) 教育と同時に、マネジメント ( 事業運営管理・経費管理・安全管理等 ) に関するキャパシティビルディングを行う。</p> <p>(ハ) マブバス村の地域復興支援 地雷処理活動を行う地域の居住地において、道路整備、給水設備整備、危険回避啓蒙教育 土かまど作り支援を行うとともに農業心育成及び地域清掃支援等を行い住民に対し地域復興について啓発、啓蒙を図る。</p>
(3) 達成された効果	<p>(イ) 地雷処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約 1 5 ha の住宅建設予定地を除去・安全化した。( 2 0 1 1 年 1 0 月末現在 )</li> </ul> <p>(ロ) 技術移転</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ INAD 隊員のリーダー要員 1 名、オペレイタ 要員 3 名、整備要員 2 名、交代・補佐要員 3 名、救護要員 1 名、企画スタッフ 1 名、会計スタッフ 1 名の合計 1 2 名に対してそれぞれの個人的特性・適性に応じて個人ごとの評価表を作成して OJT で指導している。進度レベルは、全般として進んではいるが、進めば進むほど基礎教育の欠落が大きな問題として浮上してきており、対策を準備中。</li> </ul> <p>(ハ) 地域復興支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 0 0 0 L 水タンクによる給水場を管理し、約 5 0 0 人の近傍住民に常続的に給水中。</li> <li>・ 新除去地へ人員・器機材等の通行及び運搬を可能にするよう地区を横断する道路を新設・拡幅するとともにマーケット地区の整備を実施。1 1 . 2 2 ~ 2 4 の 3 日間道路通行量は次の通り。 人員： 子供 1 5 ~ 2 6 名 、 大人 2 2 ~ 6 4 名 一般車両： 2 1 ~ 3 1 両 オートバイ： 8 ~ 1 7 両</li> <li>・ 6 月 1 6 日「アフリカ子供の日」に、マブバス郡及び学校と協力して新入生を中心とする児童約 1 5 0 人を対象に、映像及び実物り危険回避啓蒙教育を実施。 なお、本事業間の地雷・不発弾による住民の死傷者は皆無であり、地雷・不発弾等発見した場合、住民が自発的に弊会に通報するようになってきている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土ブロックによる土かまど作り実習を巡回により10地区において実施。</li> <li>・農業心育成のため、マブバス地区の主要箇所に、子供等と花壇を作成し植物を育てる心を醸成。</li> <li>・引き続き毎週土曜日に、子供達とともにマブバス地区内の清掃活動を実施中。(本事業間10月末現在22回実施)</li> </ul>
(4) 今後の見通し	<p>(イ) 地雷処理 ベネゴ州政府の住宅1,000戸建設計画に影響を及ぼさないよう、夏季間のオーバーヒート及び雨季間の泥濘地の対策等機材の運用に留意するとともに、6月21日以降実施の除去機の日稼働時間の延長(5h→7.5h)を継続実施する。</p> <p>(ロ) 技術移転 隊員の評価で判明した欠落している基礎的事項を、重点的に教育して目標レベル到達を図る。</p> <p>(ハ) 復興支援 地元コミュニティと連携して、現事業を継続実施し、事業の拡充を図る。</p>